

セミナーのお知らせ

「生命科学研究を切り拓く最新 プロテオミクスの現状と応用」



講演： 大槻純男 先生

熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)

日時

令和7年12月1日(月) 18:00 – 19:30

場所

医学部基礎研究棟 1階大学院セミナー室

タンパク質は、生命活動を支える機能分子として、生命科学研究における必須の解析対象である。また、近年、網羅的な生体分子解析技術であるオミクス解析は、トップジャーナルに掲載される研究において欠かせないデータソースとなっている。そのため、タンパク質を網羅的に解析するプロテオミクスの重要性は飛躍的に高まっているが、その解析技術の難解さやサンプルへの制限等の少し古い知識が、多くの研究者にとって大きな導入障壁となっている。直近5年間でプロテオミクス技術は劇的に進歩した。同定タンパク質数の増加やハイスループットに加え、微量サンプルや特殊なサンプルに対する解析制限も大幅に緩和されている。本講演では、最新のプロテオミクス技術の飛躍的な性能向上と進歩を解説する。また、現在、AMED-BINDS事業においてプロテオミクス支援に携わっている研究者の視点から、最新技術が停滞していた研究課題をどのように解決しうるのかなどの応用事例とともに、プロテオミクスをより身近で強力な解析ツールとして活用するためのヒントを提供する。

連絡先： 山田浩司(生化学)

(TEL: 235-7125 Mail: hiroyama@md.okayama-u.ac.jp)

大学院生、ARTプログラム科目等履修生のみならず：

このセミナーは、博士課程授業科目の「研究方法論(基礎・応用)の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。